

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

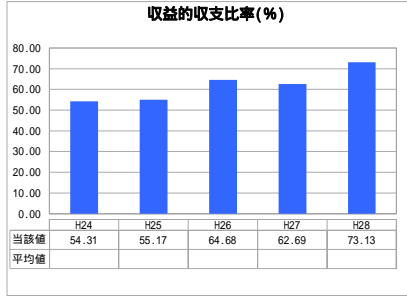
佐賀県 嬉野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	0.02	100.00	2,700

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
27,020	126.41	213.75
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
6	0.01	600.00

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成28年度全国平均

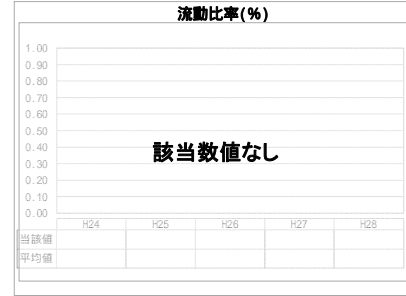
## 1. 経営の健全性・効率性



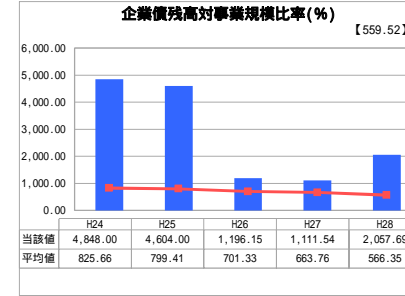
「単年度の収支」



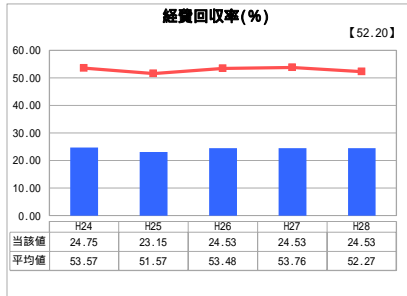
「累積欠損」



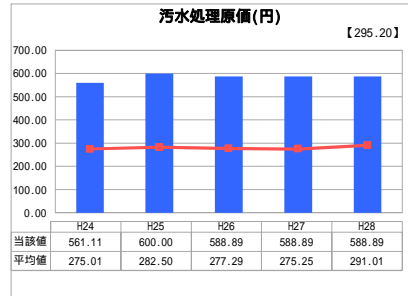
「支払能力」



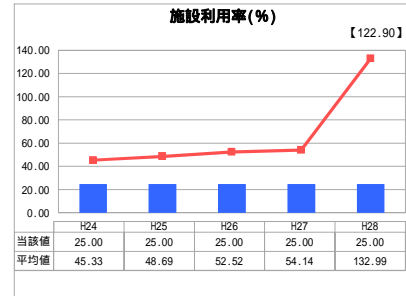
「債務残高」



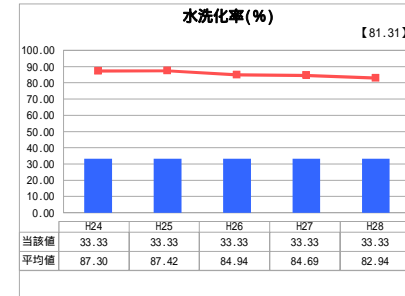
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

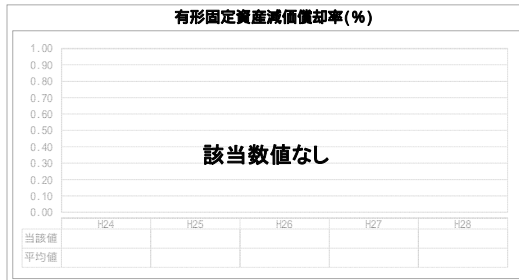


「施設の効率性」

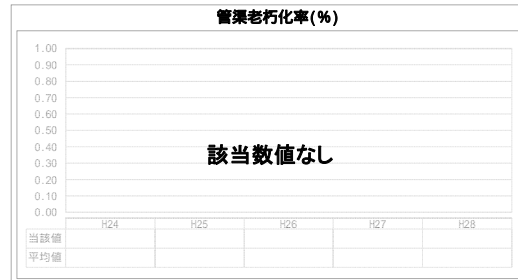


「使用料対象の捕捉」

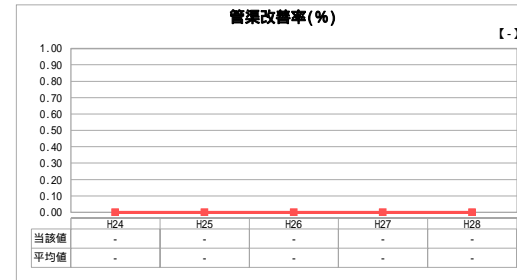
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率  
指標は、年々向上しているが、H28年度は73.13%となっており、経常収支は赤字である。経常収益については、使用料以外の収入（一般会計繰入金）に依存しているため、料金の見直しも含め経営改善を図っていく。

企業債残高対事業規模比率  
料金収入に対する企業債残高は、接続戸数が少なく建設コストが高い為、類似団体より高く推移している。H26年度以降かなり改善されているが、料金の見直しにより更なる改善を目指す。

経費回収率  
使用料で回収すべき経費についても、接続戸数が少ない為、類似団体の平均より著しく低くなっている。料金の見直し、業務の効率化、適正な使用料収入の確保が必要とされる。

汚水処理原価  
汚水処理に要した費用については、接続戸数が少ない為、類似団体より高く推移しており、施設の効率化を高めることが必要とされる。

施設利用率  
指標は、接続戸数が少ない為、類似平均より低く推移している。施設の効率を高めていくための検討が必要である。

水洗化率  
指標は、接続戸数が少ない為、平均値を下回っている。今後も普及拡大に向けた広報等を行う。

### 2. 老朽化の状況について

平成9年に整備を行っており、管渠等の老朽化はまだ発生していない。

## 全体総括

現在、農業集落排水（個別処理を含む）と公共下水道の料金体系が異なるため、料金体系を統一する予定である。今後の適正な使用料の収入の確保、汚水処理費の削減等により、経営の改善を見込む。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。